

# 事業計画書 損益予算書

令和3年度  
(第12期)

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

一般社団法人日本流行色協会

## 令和3年（2021年）度事業計画

2020年度はコロナ禍において、大きな変化を余儀なくされた年になりました。変化の兆しは以前からありましたが、その速度はかなり速まった印象です。

大きな変化ではデジタル化の急進です。外出が制限される中で、デジタル技術は強い味方になりました。その一方で、モノづくりにおいて「色彩」と「質感」を伝えるためには現在のデジタル技術では限界があることも分かりました。

今後数年のうちに産業構造が大きく変わります。社会の構造も世界中のアクティビストたちによって、よりよい方向が模索され痛みを伴いながら変わって行くことになるでしょう。特に環境保護についてアクションを起こさない組織は、投資対象から外される、消費者から信頼を失うといった事態を招くことが容易に想像される時代になりました。

2021年度、私たちは会員の皆様により身近な存在になるために活動して参ります。会員の皆様との意見交換の場を多く作ることで、共通の課題を抱えるメンバーが何らかの解決策を見つけることができるようにしたいと考えております。

活動の柱は2つ、ひとつは皆様と会話する機会を増やすために、オンラインによる交流回数を増やします。もうひとつは商品企画やモノづくりにおけるSDGsに関わる事業を応援し、有用な色彩と質感を提案して参ります。

2021年は多くの組織にとってサバイバルな年になるでしょう。その時に、色彩は私たちの心身を正常な状態に保つために大きな役割を果たします。JAFCAは今後もより皆様との連携を深め、皆様と共によりよい色彩を社会に発信するために活動して参ります。

### 2021年度事業計画の重点項目

1. オンラインを活用し、JAFCAにアクセスする新たな機会を増やす。
2. 会員の課題解決に向けたオンラインワークショップの実施。
3. 会員個別のコンサルティングをオンラインでも実施。
4. 色彩の基礎知識、活用方法等の学びの場をオンラインで提供する。
5. SDGsに向けた行動を起こす。

### 2021年度継続事業

#### 1. カラートレンド情報事業

##### (1) 部会運営

○プロダクツ・インテリア部会、レディスウェア部会、メンズウェア部会、それぞれ参加を希望する会員が集まり、今後のデザインの動向について意見交換をする。

○JAFCAカラー活用方法を解説するセミナーの実施。

##### (2) カラートレンド情報

- 部会ごとに先行市場に向けたカラートレンド情報を発表。
  - ・必要とされるカラーパレット情報内容を検討。ウェビナーや電子媒体によるタイムリーな情報発信の可能性を探る。
- 色名、イメージワードの検索システムの構築。

### (3) 委員会・分科会・研究会運営

- 化粧品分科会、自動車色彩分科会は、見学会、セミナー、ワークショップを企画開催
- U.Ge カラーデザイン研究会（旧：高齢者を元気にする研究会）。
  - ・U.Ge の目的「50 歳以上の世代に向けた CMF デザインを充実させることで高齢化社会を活性化する」に基づいて社会活動一貫として、共同研究、ワークショップ、発表を行う。
  - ・インタビュー調査、街頭調査を継続、その結果を反映した U.Ge カラーの選定・発信。
  - ・活動目的に賛同する会員を募集、業種の幅を広げる。

## 2. 出版事業

- 季刊『流行色』誌のデジタル化検討
- 色彩ベーシックコーステキストの出版

## 3. 研修会事業

- ・カラーデザインセミナー：先行開発を行う会員に有用な情報を発信。
- ・カラートレンド分析セミナー：実市場で使いやすいカラーを解説。
- ・色彩講座ベーシックコース：色彩活用のための基礎知識 年2回 東京開催。
- ・センサリーデザインセミナー：CMF デザインを含む感覚に訴えるデザインについて伝えるセミナーや見学会、勉強会を開催。
- ・JAFCA セミナー：その年に注目されるテーマに関するワークショップを実施。
- ・「U.Ge カラーデザイン研究会」の活動成果をセミナーで、一般に発表。
- ・色彩活用のための新規セミナー・講座の企画、実施。

## 4. オートカラーアワード事業

- ・カラーデザイナーの研鑽・発表の場として、活動の強化を図ると共に、今後の業界を担っていく学生の参加を拡充する。
- ・自動車の CMF に対するカラーデザイナーの取り組みを紹介する場を増やす。
- ・広報・PR の一部を外部へ委託し、媒体への露出を企画し認知度を上げる。
- ・オンライン配信の検討。

## 5. 指導監修事業

- 会員個別の要望に応じたコンサルティング、セミナー、色彩講座、ワークショップの企画、実施。

### (1) 色彩の基礎知識

- ・会員が必要とする色彩の知識を伝えるセミナー、ワークショップ企画実施、

#### 講師派遣

- (2) 色彩情報の収集、整理、分析
  - ・商品の色彩管理、市場動向分析、課題抽出と解決案
- (3) 創造力増強プログラム
  - ・時代の変化に対応するためのカラーデザイン新発想強化プログラム
- (4) 色彩戦略
  - ・先行市場に求められるデザイン要素抽出、CMF デザイン戦略
  - ・ディレクションカラー選定、カラー戦略立案など。
- (5) 会員と連携したデザイン開発
  - ・コンセプト、デザイン表現、プロトタイプ制作等、会員と連携して行う。
  - クラウドファンディングによる色見本の作製等。
- 大学、専門学校等への出講・講師派遣
  - ・学生向けにカラーの重要性、カラートレンドの意義等について啓蒙活動。
- 共催セミナー、他団体へ講師派遣

### 6. 海外トレンド情報収集活動

※コロナウィルスの感染状況に応じ臨機応変に対応する。

- (1) ミラノサローネ、インターカラー等、デザインやカラーに関する国際イベントへの参加・視察。
  - ・インターカラー（国際流行色委員会）：  
2021年5月デンマークで開催 2021年11月開催国未定
  - ・ミラノサローネ：9月外部旅行会社とのコラボレーションによる見学ツアーをオンライン開催も含め検討。
- (2) 海外展示会やコレクションの取材を外部へ依頼、季刊誌「流行色」、セミナーで報告。

### 7. 広報活動・会員勧誘活動

- 「今年の色・来年の色」
  - ・2021年12月初旬に「2022年の色」を発表。
  - ・2021年12月「2021年を象徴する色」を広く一般から募集、発表
  - ・「2022年の色」を活用した商品企画等、企業とのコラボレーションによる商品開発
- 専門委員、他団体との連携により、色彩の重要性を広める
- JAFCAの認知度を上げる
- ホームページ、SNS等のプレスリリースサービスを利用した広報活動の強化。
- 常任理事・理事による紹介、会員による紹介により、JAFCAトレンドカラー活用者を増やす
- ビジネスや健康におけるCMFの有用性を伝える場を増やす。

令和3年度 第12期

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

## 令和3年度損益ベース予算書

(単位：円)

科 目	①令和3年度予算額	②令和2年度予算額	増減額①-②	令和2年度決算額
<b>I. 収益の部</b>				
会費収入	33,880,000	41,430,000	▲ 7,550,000	38,360,000
インターカラー日本委員会会費	6,160,000	6,440,000	▲ 280,000	6,300,000
化粧品分科会費	2,760,000	2,700,000	60,000	2,820,000
自動車色彩分科会会費	1,560,000	1,680,000	▲ 120,000	1,680,000
新規研究会会費 (U. Ge研究会)	480,000	600,000	▲ 120,000	600,000
インターカラー事業収入 (2022AW日本開催)	0	1,800,000		
オートカラーアワード事業収入	10,500,000	10,500,000	0	1,142,200
研修会事業収入 (セミナー事業)	5,070,000	7,550,000	▲ 2,480,000	5,325,040
指導監修事業収入 (コンサルティング事業)	7,330,000	12,830,000	▲ 5,500,000	6,873,613
出 版 収 入	160,000	120,000	40,000	206,070
購 読 料 収 入 (「流行色」購読料)	9,500,000	10,200,000	▲ 700,000	9,639,135
広 告 料 収 入	330,000	880,000	▲ 550,000	715,000
60周年事業収入	10,000	10,000	0	3,080
雑 収 入 (その他の事業収入・受取利息含む)	2,355,000	140,000	2,215,000	6,863,950
当期収益合計	80,095,000	96,880,000	▲ 16,785,000	80,528,088
前期繰越利益剰余金	14,473,686	10,032,266	4,441,420	10,032,266
合計	94,568,686	106,912,266	▲ 12,343,580	90,560,354

(単位：円)

科 目	①令和3年度予算額	②令和2年度予算額	増減額①-②	令和2年度決算額
<b>Ⅱ. 費用の部</b>				
1. 事業費				
インターカラー日本委員会事業費	2,300,000	4,800,000	▲ 2,500,000	2,342,320
化粧品分科会事業費	1,400,000	2,500,000	▲ 1,100,000	1,345,546
自動車色彩分科会事業費	720,000	750,000	▲ 30,000	719,359
新規研究会事業費 (U. Ge研究会)	200,000	200,000	0	208,814
インターカラー事業費 (2022AW日本開催)	0	2,800,000		
オートカラーアワード事業費	8,000,000	8,000,000	0	541,209
研修会事業費 (セミナー事業)	1,370,000	2,600,000	▲ 1,230,000	1,559,598
指導監修事業費 (コンサルティング事業)	1,500,000	3,400,000	▲ 1,900,000	1,064,009
出版事業費	20,000	20,000	0	11,804
季刊誌 製作費 (「流行色」購読料)	9,000,000	10,000,000	▲ 1,000,000	8,602,869
広告制作費	0	0	0	0
トレンドカラーサンプル製作費	4,370,000	5,000,000	▲ 630,000	4,579,348
広報普及費	1,160,000	2,200,000	▲ 1,040,000	2,128,591
調査研究費	380,000	380,000	0	362,909
60周年事業費	10,000	10,000	0	1,848
事業費 計	30,430,000	42,660,000	▲ 12,230,000	23,468,224

(単位：円)

科 目	①令和3年度予算額	②令和2年度予算額	増減額①－②	令和2年度決算額
<b>2. 管理費</b>				
人件費	29,550,000	32,000,000	▲ 2,450,000	29,372,439
福利厚生費 (法定福利費を含む)	4,450,000	4,800,000	▲ 350,000	4,456,257
退職給付費用	1,100,000	1,500,000	▲ 400,000	1,106,656
支払報酬	470,000	450,000	20,000	389,400
諸会費	290,000	290,000	0	290,000
支払手数料	290,000	290,000	0	255,166
事務所賃借料	10,800,000	10,800,000	0	10,646,574
会議費	20,000	850,000	▲ 830,000	13,070
事務費	3,600,000	3,800,000	▲ 200,000	4,607,178
修繕費	30,000	30,000	0	5,500
渉外費	40,000	40,000	0	2,025
租税公課	1,370,000	1,370,000	0	1,265,900
減価償却費	275,000	670,000	▲ 395,000	136,629
雑費	10,000	10,000	0	1,650
法人税等	70,000	70,000	0	70,000
管理費計	52,365,000	56,970,000	▲ 4,605,000	52,618,444
3. 予備費	0	0	0	0
当期費用合計	82,795,000	99,630,000	▲ 16,835,000	76,086,688
当期損益	▲ 2,700,000	▲ 2,750,000	50,000	4,441,420
次期繰越剰余金	11,773,686	7,282,266	4,491,420	14,473,686

